

人文科学研究所研究叢書

75. 『ルソー論集 ルソーを知る、ルソーから知る』

2021年3月15日発行

永見 文雄・小野 潮・鳴子 博子 編著 中央大学出版部発行

定価 4,730円(本体 4,300円) (10%税込)

ISBN 978-4-8057-5359-0

目次	
まえがき 『ルソー論集 ルソーを知る、ルソーから知る』刊行にあたって	小野 潮 鳴子 博子
第一部 『エミール』論考	
第一章 エミールはどこに住むのか？	永見 文雄
第二章 総合的人間研究（総合人間学）の先駆者としてのルソー	堀尾 輝久
第三章 脆弱性としての著名性	齋藤 山人
第四章 「信仰告白」が『エミール』に為そうとしたこと	淵田 仁
第五章 有益な過ち	前之園 春奈
第二部 道徳・感覚・感情論考	
第六章 『道徳書簡』『第三書簡』の二源泉	飯田 賢穂
第七章 結節点としての内的感覚	菅原 百合絵
第八章 『新エロイーズ』とオペラの幻想	白川 理恵
第三部 政治論考	
第九章 「政治的受容」とは何か	橋詰 かすみ
第十章 ジャン= ジャック・ルソー『社会契約論』における 「統治 (gouvernement)」「習俗 (moeurs)」「世論 (opinion publique)」	西川 純子
第十一章 国民から人民へ	関口 佐紀
第十二章 ルソーにおける自由と人民主権	落合 隆
第十三章 九月虐殺とルソーの戦争状態論	鳴子 博子
あとがき	永見 文雄